

デビューしました! 吉岡 詩織(センティア)

去年の夏から試合に出始め、自分の弱さや課題が見えてきて、テニスがより楽しくなってきました。石田さんから誘っていただき、全レ预選に挑みましたが、噂どおりすごかったです!コテンパンにやられて、改めて基礎、組み立て方、粘り、丁寧さが必要だと思い知らされました。やられた分はやり返す!と大口たたいていますが、来世になりそうです。皆さん、これからよろしくお願ひします。お手柔らかに~。



アップル杯 ~5県対抗戦IN信州~

12/17日

がんばりました! 富山県チーム 2位



ねんりんピック富山2018

11/3祝~5日

何度も審判練習会を行い、準備万端のローリングとして、優しい気遣いの会場係として、多くの皆さんに3日間を通して大会を支えていただきました。

本当にありがとうございました。



3位グループ優勝の立山連邦チーム



ファミリーエンジョイ ちびっ子テニス講習会



徳風幼稚園 5/29(火)
婦中もなみ幼稚園 H31.1/23(水)
で行いました。子供たちの笑顔に元気をもらいました。

ベテランクリスマスお楽しみ会

12/7金

団体戦・ランチをして楽しみました!



募金のご報告

ラブ基金募金箱 9,576円

ガレージセール 44,716円

女子連本部のラブ基金に2万円寄付しました。
今年もありがとうございました。

リニューアルします

- コスモスオープン→5月開催チューリップオープン
- ハッピー120→スマイルテニス
誰でも参加OKになりました。

ハッピーシニアテニス団体戦(北信越セミオープン)

55歳以上、4人1組の団体戦です。
みんなで参加しましょう!

10月28日(日)
富山で開催

エントリー代の値上げについて

消費税の増税に伴いコート代や経費の増加が見込まれるため、エントリー代を値上げさせていただくことになりました。今年度も会員の皆さんに楽しんでいただけるような大会や活動を企画していきます。ご協力よろしくお願いします。

JLTF 富山県支部だより

JAPAN LADIES TENNIS FEDERATION TOYAMA REPORT

2019年 No.26

日本女子テニス連盟富山県支部
<http://www.jltftoyama.jp>

支部長あいさつ



支部長
ハツ橋 幸代

今年度も皆さまのお力添えのおかげで事業を無事に終了することができ、ありがとうございました。特に11月に開催された「ねんりんピック富山2018」では、女子連会員の協力が大きな力となり、大会を大成功へと導きました。

平成最後の年、富山県支部も少しずつ変わっていく節目の時期のように感じています。支部は発足37年となり、ベテラン会員の割合が増えてきました。それに合わせて、新規会員との交流を深めつつ、ベテランも楽しめる事業を企画しています。

テニスは一人ではできません。仲間を大切に、思いやりの気持ちをもって、2019年もみんなで楽しく活動ていきましょう。

岩瀬にマンモバスがやってきた! 7/4水

村田 あゆみ(わくわくテニス)

ピンクリボンテニス大会に、本部からマンモバスが派遣されました。4月のレディースデーから声掛けを行い、選手26名、役員他12名、計38名が受診しました。3名の女性検査技師の方々が手際よく作業を進めながら質問に丁寧に答え、不安を取り除く声掛けをして下さる姿はとても印象的でした。

テニス界のレジェンド、ナブラチロワさんも乳ガンを治療されました。スポーツマンでもリスクはありません。日本では、女性の11人に1人に乳ガンが見つかっていますが、早期発見で90%が治るそうです。まず自分自身、そして身近な人への検診のお説いをこれからも続けていきましょう!

桑名杯レディーステニス大会

7/11水

荒瀬 マリアン・山田 彩(センティア)

桑名杯という歴史と伝統のある大会で優勝することができ、優勝杯に名前を刻めたことをたいへんうれしく誇りに思います。

猛暑日の日差しの中、8ゲームズプロセットの長い試合はとても厳しいものでした。集中力を高め、ペアとカバーし合い、コミュニケーションをとれたことが優勝につながったと思います。

大会役員の皆さん、一緒に練習してくれるテニス仲間、応援してくれる家族に改めて感謝します。



北陸ピンクレディーステニス大会

7/25水

北陸大会に参加して

宮腰 いずみ(センティア)

今年の北陸大会は気温35℃の猛暑日でした。試合方法は6ゲーム先取に変更となり、テニスの勝負はもちろんのこと、自分の体調にも注意しながらの厳しい大会となりました。

個人の結果としては、目標としていた全勝を達成することができました。しかし、粘り不足や日頃の体力不足を露呈してしまい、何度も飛弾野さんに助けてもらいました。暑い中でも各コートで白熱のラリー戦が繰り広げられ、1ポイントの大切さを改めて感じました。練習を重ね、来年はさらに上の大会を目指して頑張りたいです。サポートして下さった皆さん、メンバーの皆さん、ペアを組んで下さった飛弾野さん、テニスをさせてくれる家族、本当にありがとうございました。



太陽スポーツカップ ドリームテニス大会
10/3 水

藤田 千鶴子 (大林T.S)

ペアを組んで6年目の綾ちゃんとは、子育てをしながらのゆる~いテニスでした。それが、こんなに「ドハマリ」するとは思いませんでした。これまでどの試合も、良い時も悪い時も「笑顔で楽しく」をモットーに、励まし合い頑張ってきました。

今年のドリーム大会も、またもや波乱の試合展開でしたが、最後まで諦めず二人で助け合って優勝することができました。今年こそはと応援して一緒に練習して下さった皆さま、本当にありがとうございました。来年は一つ上のレベルで戦えるよう精進します。



富山県で開催しました

北信越レディーステニス 決勝大会
10/24 水・25 木

△北信越レディースを終えて

杉原 庸子 (センティア)

5回目の北信越レディースは初ペアでの挑戦でした。阿閉さんとお互いのスケジュールを調整し、ペア練習ができるだけしました。練習中ペアリングが上手くいかず、心が折れそうになることもありましたが、その度に二人で話し合いました。守り型の私と攻撃型の阿閉さん。相手の良いところを自分のテニスに取り入れ、相手に合わせる。テニスは我慢と挑戦の繰り返しです。練習の成果あってか、予選から全ての試合に勝つことができました。

ダブルスは二人で作り上げていくもの、ペアがいるからできることを改めて感じました。一緒に試合に出てくれるペアに感謝して、これからも挑戦していきたいと思います。一緒に出場してくれた阿閉さん、ありがとうございました。



ピンクリボンレディーステニス 全国大会
荏原湘南スポーツセンター 10/15 月～17 水



一般の部 吉田 賀世子 (センティア)

ペア歴約20年。お互い子育てに少し余裕が出てきた今年、5年ぶりに手にしたピンクリボン全国大会への切符。結果は、5年前と同じ初戦敗退でした。

しかし、パールの部のお二人を始めとして周りの方々にペアで誘っていただき、実のある練習ができたことを本当にありがとうございます。

今年は全国レディースにも出場することができ、両方の大会で全国のレベルを目の当たりにしたこと、二人の今後の目標も具体化することができました。さらにテニスを楽しみたいと思います。

50歳以上の部 藤谷 裕子 (高岡RTC)

全国大会直前の自分のケガやペアの家族にもアクシデントがあり動揺しましたが、なんとか調整して出場できました。結果はコンソレの部3位で、他県の代表の方によい刺激を受けました。今年は各地でさまざまな災害が起こりました。テニスができるこの幸せを噛みしめ、周りの方への感謝の気持ちがいっそう増しました。

強そうに見えてる者同士、二人で得点を重ねていく楽しさを感じています。以前に「50になると楽しいことがあるよ」と言われたことを思い出します。

フレッシュザーズ親睦会テニス 秋
10/10 水



ソニー生命カップ全国レディース 決勝大会
昭和の森テニスセンター 11/8 木～10 土

△全国決勝大会を終えて

元村 めぐみ (口コメイト)

小川 梨佳 (センティア)

私たちはお互いに2回目の全国決勝大会出場でした。予選大会以来、たくさんの方々にご指導やご支援をいただき、この場に臨みました。

初戦は対島根県。ファーストセットは落としましたが、挽回し2-6、6-1、10-4で勝つことができました。2回戦は対北海道。シーソーゲームでしたが終盤に4-6で落とし、セカンドセットも3-6と負けてしまいました。相手の戦術にやられてしまい、とても悔しい思いをしました。

この悔しさをばねに、レベルアップできるよう日々の練習を頑張ります。チームの方々、富山から応援いただいた皆さま、ありがとうございました。

△幸運!

森田 浩美 (J☆フレンズ)

予選直前にラケットが壊れ、今年もダメかと暗雲立ち込めた気分になっていました。しかし、貸してもらったラケットがとても良くて、結果2位で代表になることができました。

全国大会では山木監督の下、全レの難しさと楽しさを十分に味わうことができました。ペアの山口さん、八ツ橋さんを始めとして練習や応援をしてくださった皆さま、本当にありがとうございました。

△たくさんの方の愛に心からありがとう!

山口 直美 (センティア)

初めての全国レディース決勝大会は、チームのみんなのおかげで2回戦へ進めました。対北海道戦。「絶対に勝って帰りたい!!」県予選の時から、前を向いて笑顔で臨もうねと二人で話していました。応援団の声援に涙があふれ、大きなパワーをもらい、二人の気力となって貴重な一勝につながりました。私の初挑戦は、とても楽しい時間でした。



JLTフクレストレディーステニス
昭和の森テニスセンター 11/19 月・20 火

林 真喜子 (グリーンテニス)

「何十年ぶりかしら♪」の全国大会に出場して一か月余り過ぎましたが、60歳以上の部の決勝大会が昨日のことのように鮮明に思い出されます。



ハイレベルの戦いに驚きと感動、そしてなぜか幸福感に包まれた夢のようなクレストレディース大会でした。この素晴らしいテニスと関わりながら、あと少し“頑張ろう”との思いを与えてくださった女子連、ペアの小柴さん、仲間達に感謝致します。

ヨネックスオーブン全国大会

横浜国際プール
12/12 水・13 木

黒川 結衣 (センティア)



女子連に入って初めての全国大会で、初戦からとても緊張しました。全国大会では前の動きが上手い方ばかりで、ストロークだけではなかなかポイントをとれず、ボレーで決められることが多くありました。ストロークでもいろいろな球種を使うこと、ボレー、スマッシュなど上の動きの大切さを実感しました。自分の足りない所が良く分かり、とても勉強になりました。そして何より攻める気持ち、感謝の気持ちを忘れず、最後まで諦めないことを学びました。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

山崎 英吏子 (J☆フレンズ)

この大会は2回目の出場でした。今回は母と娘と言つてもよいくらい若いペアとの出場で、すごく心強く楽しみでした。ちゃんとできるか不安もありましたが、私のミスは結衣ちゃんがカバーしてくれたので楽しくプレーできました。

相手の情報がなく短い試合の時は、戦いながら考え、素早く決定し、行動に移せるかどうかで試合の勝敗が決まるなあと実感させられました。まだ足りない技術もたくさんありますが、判断の素早さと正確さは今後の課題です。試合で負けたことで、また頑張ろうと今後の練習の活力になりました。参加させていただきありがとうございました。